



## ユーザ デバイス プロファイル テンプレート

この章では、ユーザ デバイス プロファイルの作成と変更の手順を説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- 「ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索」(P.36-1)
- 「ユーザ デバイス プロファイル用の一括管理 (BAT) テンプレートの作成」(P.36-2)
- 「テンプレートの修正」(P.36-5)
- 「関連項目」(P.36-7)

## ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索

複数のユーザ デバイス プロファイル (UDP) テンプレートに対応できるように、Cisco Unified Communications Manager では、固有の検索条件に基づいて特定のテンプレートを探し出すことができます。テンプレートを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションの作業中、検索/一覧表示の検索プリファレンスはクライアント マシンのクッキーに格納されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻った場合、またはブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを再度開いた場合、検索を変更するまで Cisco Unified Communications Manager 検索プリファレンスが維持されます。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [UDP テンプレート (User Device Profile Template)] の順に選択します。
- [UDP テンプレートの検索と一覧表示 (Find and List UDP Templates)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、テンプレートを検索します。
- ステップ 2** 最初の [検索対象: UDP テンプレート、検索条件:(Find UDP Templates where)] ドロップダウンリストボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
- [プロフィール名 (Profile Name)]
  - [プロフィールの説明 (Profile Description)]
  - [デバイスタイプ (Device Type)]

2 番目の [ 検索対象 : UDP テンプレート、検索条件 :(Find UDP Templates where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ が次の文字列で始まる (begins with)]
- [ が次の文字列を含む (contains)]
- [ が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [ が次の文字列で終わる (ends with)]
- [ が空である (is empty)]
- [ が空ではない (is not empty)]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、[ 検索 (Find)] をクリックします。



**ヒント** データベースに登録されているすべての UDP テンプレートを検索するには、検索テキストを入力せずに [ 検索 (Find)] をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ 名前 (Name)]
- [ 説明 (Description)]
- [ デバイスタイプ (Device Type)]
- [ プロファイルタイプ (Profile Type)]

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件に一致するテンプレート名をクリックします。  
[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.36-7) を参照してください。

## ユーザ デバイス プロファイル用の一括管理 (BAT) テンプレートの作成

ユーザ デバイス プロファイルを一括して追加するためのテンプレートを作成する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [UDP テンプレート (User Device Profile Template)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [デバイスプロファイルタイプ (Device Profile Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、ユーザ デバイス プロファイルのモデルを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 4** [ユーザデバイスプロファイルテンプレート名 (User Device Profile Template Name)] フィールドに、50 文字以下で固有の名前を入力します。

**ステップ 5** [説明 (Description)] フィールドに、UDP テンプレートの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックslash (¥)、または山カッコ (<>) は使用できません。

デバイスのモデルによっては、次のフィールドの一部が表示されない場合があります。

- [ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)] : ユーザがコールを保留にしたときに再生されるオーディオソースを選択します。
- [ユーザロケール (User Locale)] : このプロファイル用の国と言語の組み合わせを選択します。
- [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] : このプロファイル用の電話機ボタンテンプレートを選択します。
- [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] : このプロファイルに適切なソフトキーテンプレートを選択します。
- [プライバシー (Privacy)] : このプロファイルに適切なプライバシーオプションを選択します。
  - [オフ (Off)]
  - [オン (On)]
  - [デフォルト (Default)]



(注) プライバシーを必要とするデバイスごとに、[プライバシー (Privacy)] ドロップダウンリストボックスで [オン (On)] を選択します。設定情報の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。

- [ワンボタン割り込み (Single Button Barge)] : ワンボタン割り込み機能の適切なオプションを選択します。
  - [オフ (Off)] : ワンボタン割り込み/C 割り込み機能を無効にします。ただし、通常の割り込みまたは C 割り込み機能は使用できます。
  - [割り込み (Barge)] : ワンボタン割り込み機能を有効にします。
  - [C 割込 (cBarge)] : ワンボタン C 割り込み機能を有効にします。
  - [デフォルト (Default)] : サービス パラメータで設定されているワンボタン割り込み/C 割り込みの値を使用します。



(注) 設定情報の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。

- [回線をまたいで参加 (Join Across Lines)] : 回線をまたいで参加するには適切なオプションを選択します。
  - [オフ (Off)] : 回線をまたいで参加機能を無効にします。
  - [オン (On)] : 回線をまたいで参加機能を有効にします。
  - [デフォルト (Default)] : サービス パラメータの回線をまたいで参加設定を使用します。
- [常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)] : 次の値から使用する設定を入力します。
  - [オン (On)]
  - [オフ (Off)]
  - [デフォルト (Default)]

- [ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する] : 次の値から使用する設定を入力します。
  - [オン (On)]
  - [オフ (Off)]
  - [デフォルト (Default)]
- [MLPP 表示 (MLPP Indication)] : MLPP 優先コールを行うときにデバイスが優先トーンを再生できるかどうかを指定するには、次のいずれかを選択します。
  - [デフォルト (Default)] : MLPP 表示をデバイス プールから継承します。
  - [オフ (Off)] : MLPP 表示トーンを送信しません。
  - [オン (On)] : MLPP 優先コールの表示を送信します。
- [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] : MLPP 優先コールを行うときに進行中のコールをデバイスがプリエンプション処理できるかどうかを指定するには、次のいずれかを選択します。
  - [デフォルト (Default)] : MLPP プリエンプション設定値をデバイス プールから継承します。
  - [無効 (Disable)] : MLPP 優先コールを行うときにコールをプリエンプション処理しません。
  - [強制 (Forceful)] : MLPP 優先コールを行うときに進行中のコールをプリエンプション処理します。



(注) デバイスの [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] が [強制 (Forceful)] に設定されているときは、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ (Off)] に設定しないでください。

- [MLPP ドメイン (MLPP Domain)] : このデバイスに関連した MLPP ドメインの 16 進数を入力します。ブランクまたは 0 ~ FFFFFFFF の値である必要があります。
- [拡張モジュール情報 (Expansion Module Information)] : 電話機に拡張モジュールが取り付けられている場合はそのタイプを選択し、[モジュール 1 (Module 1)] と [モジュール 2 (Module 2)] に対しては [<なし (None)>] を選択します。
- [ログインユーザ ID (Login User Id)] : デフォルト プロファイル用のログイン ユーザ ID を入力します。ユーザがユーザ デバイス プロファイルからログアウトすると、ユーザ デバイス プロファイルは自動的にこのログイン ユーザ ID にログインしてデフォルト プロファイルを使用します。

- ステップ 6** 必要に応じて [プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 7** DND 機能を有効にする場合は、[サイレント (Do Not Disturb)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 8** [DND オプション (DND Option)] ドロップダウン リスト ボックスから、DND オプションを選択します。
- ステップ 9** [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] ドロップダウン リスト ボックスから、DND 着信呼警告 オプションを選択します。
- [なし (None)] : 着信呼に対して警告を出さない場合は、このオプションを選択します。
  - [無効 (Disable)] : DND モード中に着信呼警告を無効にする場合は、このオプションを選択します。
  - [フラッシュのみ (Flash Only)] : DND モード中にデバイスを点滅させる場合は、このオプションを選択します。
  - [ビーブ音のみ (Beep Only)] : DND モード中にデバイスのビーブ音を鳴らす場合は、このオプションを選択します。

- ステップ 10** [クラスタ間エクステンションモビリティの CSS(Extension Mobility Cross Cluster CSS)] ドロップダウン リスト ボックスから、クラスタ間エクステンション モビリティの CSS を選択します。
- ステップ 11** [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] ドロップダウン リスト ボックスから、機能管理ポリシー を選択します。



(注) このフィールドは、RoundTable 電話機の場合のみ表示されます。

- ステップ 12** [保存(Save)] をクリックします。[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 13** 選択した電話機ボタン テンプレートによって、表示されるリンクが異なります。たとえば、回線の追加、スピードダイヤル設定、登録済み Cisco IP Phone サービス設定、およびビジー ランプ フィールド スピードダイヤル設定などのリンクが表示されます。

一部の Cisco Unified IP Phone モデルでは、Cisco Unified IP Phone サービスとスピードダイヤルをテンプレートに追加できます。BAT テンプレートの回線、IP サービス、スピードダイヤルの追加の詳細については、[第 3 章「電話機テンプレート」](#)を参照してください。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.36-7) を参照してください。

## テンプレートの修正

同じデバイスの一部のフィールドだけを変更するときは、テンプレートのプロパティを修正できます。既存の BAT テンプレートの詳細を修正または更新する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** 「[ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索](#)」(P.36-1) の手順に従って、変更する UDP テンプレートを検索します。
- ステップ 2** 表示されたテンプレートのリストから、変更するテンプレート名をクリックします。選択したテンプレートの詳細が、[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウに表示されます。
- ステップ 3** それが修正するテンプレートであることを確認します。
- ステップ 4** 必要に応じてテンプレート フィールドで詳細を修正します。
- ステップ 5** [保存(Save)] をクリックして既存のテンプレートに変更内容を保存します。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.36-7) を参照してください。

## テンプレートのコピー

一部のフィールドだけを変更するときは、テンプレートのプロパティを新しいテンプレートにコピーできます。



**(注)** 作成する新しいテンプレートは、元のテンプレートとデバイス タイプが同じでなければなりません (たとえば、Cisco IP User Device Profile Model 7960)。

既存の BAT テンプレートをコピーする手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** 「[ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索](#)」(P.36-1) の手順に従って、コピーする UDP テンプレートを検索します。

**ステップ 2** 表示されたテンプレートのリストから、コピーするテンプレート名をクリックします。選択したテンプレートの詳細が、[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウに表示されます。



**(注)** コピーするテンプレートに対応する [コピー (Copy)] カラムのアイコンをクリックして、テンプレートをコピーすることもできます。

**ステップ 3** これが、コピーするテンプレートであることを確認してから、[コピー (Copy)] をクリックします。テンプレートが複製され、コピーが作成されます。このコピーには、元のテンプレートで指定した値がすべて複写されます。

**ステップ 4** [ユーザ デバイス プロファイル テンプレート名 (User Device Profile Template Name)] フィールドに、新しいテンプレート名を 50 文字以下の英数字で入力します。

**ステップ 5** 必要に応じて、新しいテンプレートのフィールドを更新します。

**ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。BAT に追加されるテンプレートが、左側のテンプレート カラムに表示されます。

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.36-7) を参照してください。

## テンプレートの削除

BAT テンプレートが不要になった場合は、削除することができます。テンプレートを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** 「[ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索](#)」(P.36-1) の手順に従って、削除する UDP テンプレートを検索します。

**ステップ 2** 表示されたテンプレートのリストから、削除するテンプレート名をクリックします。選択したテンプレートの詳細が、[UDP テンプレートの設定 (UDP Template Configuration)] ウィンドウに表示されます。



(注) テンプレート名の横のチェックボックスをオンにし、[ 選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックしても、テンプレートを削除できます。

- ステップ 3** これが、削除するテンプレートであることを確認してから、[ 削除 (Delete)] をクリックします。削除操作を確認するように求めるメッセージが表示されます。
- ステップ 4** [OK] をクリックして、テンプレートを削除します。[UDP テンプレートの検索と一覧表示 (Find and List UDP Templates)] ウィンドウのテンプレートのリストから、テンプレート名が消去されます。

#### 追加情報

「関連項目」(P.36-7) を参照してください。

## 関連項目

- 「ユーザ デバイス プロファイル テンプレートの検索」(P.36-1)
- 「ユーザ デバイス プロファイル用の一括管理 (BAT) テンプレートの作成」(P.36-2)
- 「テンプレートの修正」(P.36-5)

